

平成28年「熊本地震」 その時、小国公立病院・おぐに老人保健施設は...



発行
小国公立病院
0967-46-3111
おぐに老人保健施設
0967-46-6111
訪問看護ステーション
0967-46-6050
小国調剤薬局
0967-46-5736
ゆう薬局
0967-46-6320

5月号
平成28年5月

熊本地震で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。
小国郷の被害は、益城町や阿蘇の他の地域よりは限定的であり、5月に入り、一見小国郷は平和な空気を取り戻しつつある様にみえますが、それでも失ったものを取り戻すには、まだまだ時間がかかるかと思えます。
熊本地震が起こり、数日間の当院の様子をお伝えいたします。

4月14日の1発目の地震（前震）は、特に大きな被害もなく、15日の外来は混乱もなく、通常通り行われました。
しかしその日の夜中に起こった2発目の地震（本震）は、小国でもかなり強い揺れで、病院はしばらく停電になってしまいました。その間は、非常電源が動いており、医療機器には異常は生じず、患者様の命に関わる事故は起こりませんでした。幸い、数十分で電気が復旧し、ガス・水道も保たれていた為、小国公立病院は、ライフラインの心配は必要なく、入院患者様の医療には大きな混乱は、ありませんでした。

本震後、16日は時間外外来の受診が増える事が予想されたので、小国在住の管理職やボランティアスタッフが非常出勤いたしました。DMAT(災害派遣医療チーム)が駆けつける

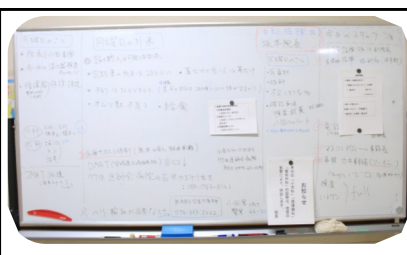


DMAT(災害派遣医療チーム)が駆けつける



DMATとの対策会議

梅田先生にお声掛けさせていただき、大村先生・辻先生にも公立病院の診療をお手伝い頂き、通常の倍以上の患者様に対応することができました。この場をお借りし、御礼申し上げます。
地震での道路の寸断が、医療物資に影響を及ぼす可能性もありましたが、幸い、熊本や福岡からのルートの復旧が早く、物資不足による混乱もほとんどありませんでした。



状況・指示などを情報交換
職員全員で把握・確認

おぐに老人保健施設としては、16日未明の本震後、朝一番に日頃から通所を利用されている一人暮らしの方を中心に電話連絡をいれました。
安否確認とショートステイの利用を勧め、ケアマネージャーと連携を図り、一人暮らしの方や家屋崩壊寸前の方など、7名を受け入れられました。
本震から約1ヶ月経つ今でも、引き続き余震や断水の関係で、ショートステイから入所に切り替え、長期的なお泊まりになった方もおられます。



余震に注意しながら、棚から落ちたカルテを整理。

Facebook (フェイスブック) による状況報告

4/15 (日) 1回目の地震(前震)後、通所者の影響
4/16 (土) 2回目の地震(本震)後、3件の通所者外来に対応
4/17 (日) 23時の通所者外来に対応。DMAT窓口が対応開始
4/18 (月) 地震後、通所者開始
4/19 (火) 地震後、通所者開始
4/20 (水) 地震後、通所者開始
4/21 (木) 地震後、通所者開始
4/22 (金) 地震後、通所者開始
4/23 (土) 地震後、通所者開始
4/24 (日) 地震後、通所者開始
4/25 (月) 地震後、通所者開始
4/26 (火) 地震後、通所者開始
4/27 (水) 地震後、通所者開始
4/28 (木) 地震後、通所者開始
4/29 (金) 地震後、通所者開始
4/30 (土) 地震後、通所者開始
5/1 (日) 地震後、通所者開始
5/2 (月) 地震後、通所者開始
5/3 (火) 地震後、通所者開始
5/4 (水) 地震後、通所者開始
5/5 (木) 地震後、通所者開始
5/6 (金) 地震後、通所者開始
5/7 (土) 地震後、通所者開始
5/8 (日) 地震後、通所者開始
5/9 (月) 地震後、通所者開始
5/10 (火) 地震後、通所者開始
5/11 (水) 地震後、通所者開始
5/12 (木) 地震後、通所者開始
5/13 (金) 地震後、通所者開始
5/14 (土) 地震後、通所者開始
5/15 (日) 地震後、通所者開始
5/16 (月) 地震後、通所者開始
5/17 (火) 地震後、通所者開始
5/18 (水) 地震後、通所者開始
5/19 (木) 地震後、通所者開始
5/20 (金) 地震後、通所者開始
5/21 (土) 地震後、通所者開始
5/22 (日) 地震後、通所者開始
5/23 (月) 地震後、通所者開始
5/24 (火) 地震後、通所者開始
5/25 (水) 地震後、通所者開始
5/26 (木) 地震後、通所者開始
5/27 (金) 地震後、通所者開始
5/28 (土) 地震後、通所者開始
5/29 (日) 地震後、通所者開始
5/30 (月) 地震後、通所者開始
5/31 (火) 地震後、通所者開始

がけ崩れで多くの道路が通行できなくなってしまう、ほとんどの医師が小国に到達できないという事態が起こりました。そこで、小国郷の開業医

避難部屋

受入れ時情報・状況報告

飲み水の確保

また、老人保健施設の対応として、小国町との協定で『福祉避難所』としての役割もしています。高齢者や障害のある要介護者、妊産婦など、一般の避難生活所において、何らかの特別な配慮を必要とする方が、小国町の勧めで利用するもので、本震から現在まで3世帯の方が利用されました。
布団の準備、お食事の提供、健康チェック(毎日)を行い、利用者の方からは「安心して眠れます」という声を頂きました。
県からは福祉用具の無償貸与で「据え置き式手すり」を戴き、福祉避難所としての環境が少しづつ整いつつありますが、今回の経験で、各避難所も含め、「簡易ベッドの必要性と不足」を感じました。避難したものの、床の上に横たわることが難しい高齢者や障害者の方々のために、折りたたみ式の簡易ベッドの準備も必要で、もし自宅で眠っている簡易ベッドがありましたら、寄付して頂けると助かります。
(裏面につづく)

地震関連利用者数

(平成28年5月15日現在)

公立病院 地震関連受診総数	85名	おぐに老人保健施設 ショートステイ受入れ	7名
入院	8名	避難世帯受入れ	3世帯
救急車受入れ	6台		



避難所へ。血圧測定や体調など様子を尋ねる

5月に入り、避難所で暮らされている方は少なくなっている様ですが、車内泊を長く継続された方もいらっしゃると思います。エコノミークラス症候群の発症の予防を含めて、災害時の自己健康管理について、この機会に考えてみてはいかがでしょうか？

以上の様に、今回の地震が公立病院の医療体制に与えた影響は、結果的には非常に少なかったと考えています。地震は小国郷の住民の健康に少なからず影響を与えました。震災のストレスに身体がついていけず、具合が悪くなる方も多くみられ、一時、介護施設は臨時の利用者で一杯になり、公立病院の病床も満床に近い状態となりました。小国郷の避難所の状況を把握する為に、4月19日と21日にスタッフ10名程で、小国町と南小国町の避難所を巡回しました。沢山の方が避難されており、環境としてはかなりのストレスの多いものでしたが、ほとんどの皆さんの顔には笑顔があったのは印象的でした。しかしながら、中には具合が悪い方も数名おられ、公立病院を受診して頂きましたが、幸い大事には至っておりませんでした。

脳神経外科医師・小児科医師退職後の 新年度診療体制について

小国公立病院院長 坂本英世 医局医師一同

脳神経外科・小児科の常勤医の退職により、4月からの小国公立病院の外来診療体制が変更になっております。

退職後は、両科の常勤医派遣が中止となり、今後、常勤医の診療は総合診療科と外科のみとなります。

脳神経外科の診療科がなくなりますので、これまで脳神経外科に通院されていた方は、総合診療科・外科の常勤医・非常勤医に振り分け、診療を継続いたします。

4月より、診察窓口が変更となる事があります。受付でお伝えいたしますので、ご留意下さい。

小児科は常勤医が退職となり、外来診療をなんとか継続できる様、多方面に依頼してきました。結果、熊本大学小児科・熊本赤十字病院のご厚意で、月・火・木・金曜日に外来診療を行う非常勤医師を派遣していただける事になりました。

町のみなさんにとっては、救世主的な非常勤医師派遣です。但し、水曜日のみは、休日や時間外と同様で、小児科医以外の医師が可能な範囲で対応いたします。

整形外科・循環器科・眼科・耳鼻科・皮膚科・産婦人科、泌尿器科・もの忘れ科の外来はこれまで通り非常勤医師による外来診療です。

今や、地域に医師を派遣するのは、大学医局や大病院の社会的義務ではなくなっています。余裕のある病院など熊本には存在しません。地域の為に、身を削って医師を派遣して頂ける組織や、遠くまで診察に来て頂ける医師に、病院として、町として感謝をしなければなりません。

小国公立病院として、基本的にはこれまで通りの外来診療が継続できる様に努力しますが、医師一人当たりの診察人数が増えてしまい、これまで以上に待ち時間が長くなってしまいう可能性があります。ご理解の上、皆さんのご協力よろしくお願ひ致します。

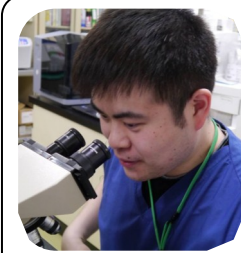
	月	火	水	木	金
小児科外来	熊大	日赤	休診	熊大	日赤
脳外科外来	総合診療科・外科で対応(診療窓口が変更になることがあります)				

～医師紹介～



総合診療科 外科
糸山 明莉 先生

平成28年3月より小国公立病院に赴任しました。外科の糸山明莉です。消化器外科領域を専門としており、手術はもちろん、外来・入院治療・検査などを行っています。ピアノとテニスが趣味で、今年6月に結婚して「園田明莉」に変わる予定です。小国の患者様のために頑張りますので、どうぞ宜しくお願い致します。



総合診療科 内科
吉村 文孝 先生

4月から小国に赴任しました。自治医科大学卒業です。学生時代は剣道や弓道で身体を鍛えていました。趣味はおいしいものの食べ歩きです。まだまだ不慣れな事もありますが、小国に貢献できる様頑張ります。

～支援看護師紹介～



3階病棟
濱好 看護師

熊本赤十字病院から来た濱と申します。日赤では手術室に勤務し、県北救急医療の拠点病院であり、阿蘇地域からたくさんの患者さんが治療に来られています。そんな中で、術後の継続治療はどうなっているのか気になり、小国公立病院へ出向する事を希望しました。経験・知識ともに未熟ですが、ご指導宜しくお願い致します。

次回は平成28年7月を
予定しております。お楽しみに!!!